

手指衛生について

手指衛生とは「流水と石けんによる手洗い」と「擦式アルコール製剤を用いた手指消毒」の両方の総称です。

いずれも手指衛生の方法としては有効ですが、「流水と石けんによる手洗いを要する場面以外では「擦式アルコール製剤を用いた手指消毒」を使用することが推奨されています。

擦式アルコール製剤を用いた手指消毒のメリット

- 「流水と石けんによる手洗い」よりも除菌効果が高い
- ベッドサイドから手洗い用シンクに行き行って再び戻るまでの時間（1分以上）に比べて、擦式アルコール製剤を用いれば短時間（15秒程度）で済む
- 擦式アルコール製剤には、保湿成分が添加されており、手荒れを起しにくい
- 擦式アルコール製剤は設置場所を選ばず、携帯も可能

手指衛生の除菌効果比較

手指衛生の方法 除菌効果

手指衛生の方法	除菌効果
手洗い (流水と石けん)	15秒：1/4～1/13 30秒：1/60～ 1/600
手指消毒 (擦式アルコール製剤)	30秒：1/3,000 60秒：1/10,000～ 1/30,000

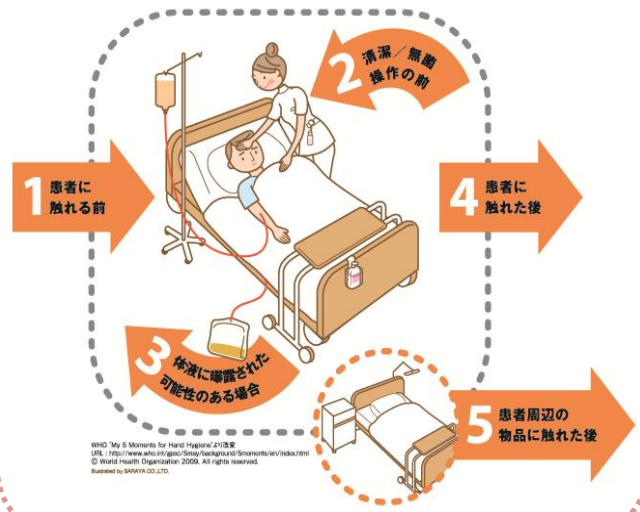
流水と石けん手洗いが必要な場面は…

- 手指に目に見える汚れがあるとき
- 血液・体液が付着しているとき、または、その可能性があるとき
- 芽胞形成菌やアルコールに抵抗性を示す病原体（CD・ノロウイルスなど）の感染症が判明、または疑われるとき
- 擦式アルコール製剤を数回用いた後に、手がべとついたとき
- 食事前、トイレ後



最重要 Point!!

- ◎ 手指衛生によって、人から人、環境から人への病原体の伝播を防ぐことができる。
手指衛生は最も重要な感染対策である。
- ◎ 手指衛生は「流水と石けんによる手洗い」と「擦式アルコール製剤を用いた手指消毒」とを正しく使い分ける
- ◎ 適切な手技、適切なタイミング、適切に管理された製剤を用いる
- ◎ 手指衛生は
「患者に触れる前」
「清潔/無菌操作の前」
「体液に曝露された可能性がある場合」
「患者に触れた後」
「患者周辺の物品に触れた後」 に行う



ちょっと節約豆知識

感染対策は費用のかかる事が多いので少し節約を考えてみました。

皆様、エレベーターを使用するといくら電気代がかかるかご存知ですか？

一説には呼ぶのに10円、乗って希望の階に行くのに10円 合計20円かかるそうです。

たかが20円されど20円この節約が病院を救うかも(?)しれません。

ちなみに階段は、地下から6階を5往復すればステーキ1枚分のカロリーが消費されるそうです。夏の健診に向けて階段を使用してみませんか？

